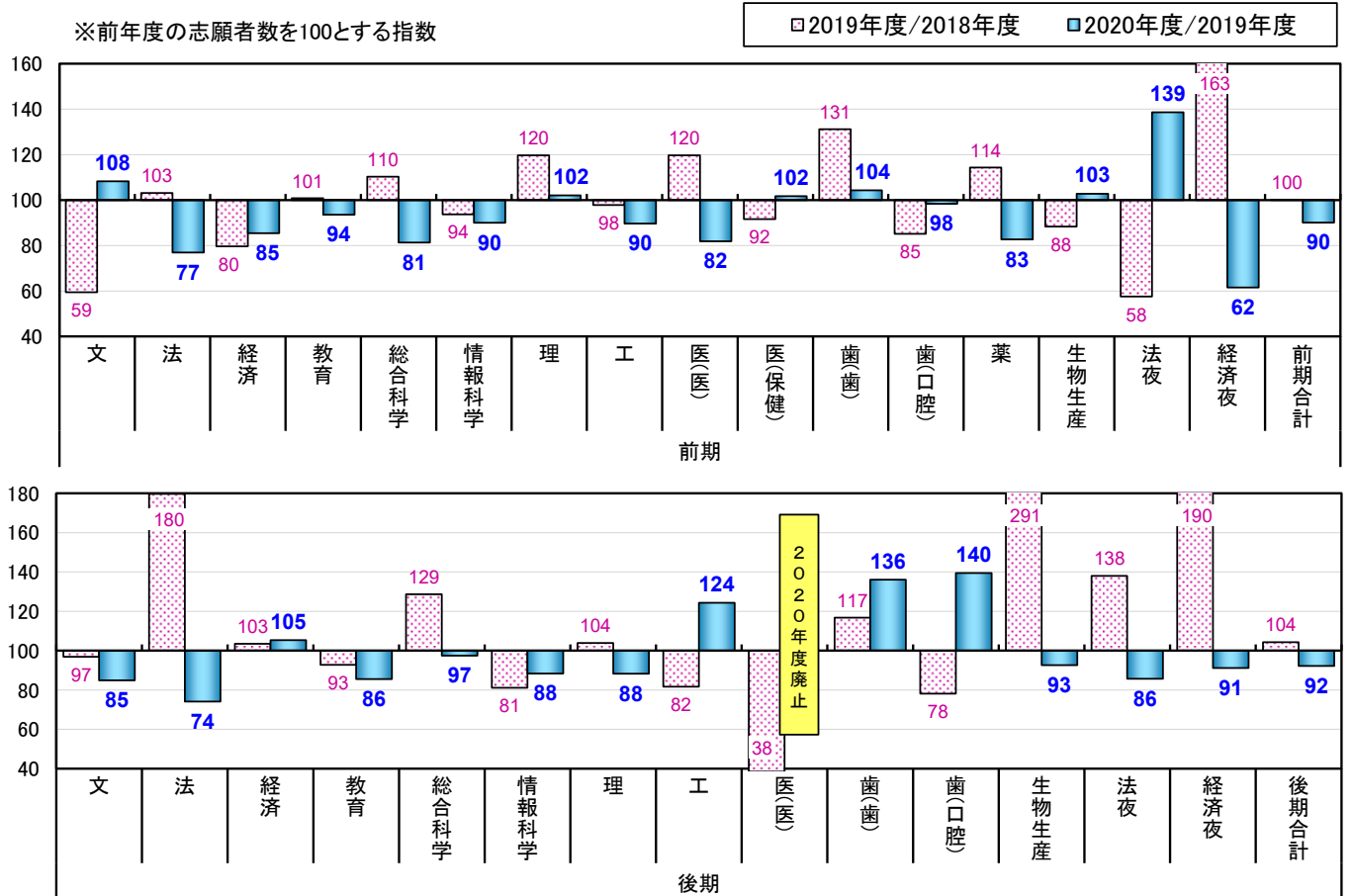


2020年度入試状況分析【国公立大】

広島大：前期は4年ぶりに減少、後期も減少

前期：-479人 後期：-189人



入試変更点 選抜方法：医<後>…後期日程廃止
個別試験：生物生産<後>…面<300>→<段階評価>

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数
大学全体では、前期は479人(90)、後期は189人(92)でいずれも減少。学部別では、歯は前期(103)、後期(137)とも増加。なお、法夜、経済夜を除くと、前期は436人(91)の減少、後期は168人(93)のやや減少。

- <前期日程>
- 文(108)は、前年度大幅減少の反動で増加。
 - 法(77)は、大幅減少。志願倍率も2.4倍→1.9倍へダウン。
 - 経済(85)は、系統への人気低下で2年連続大幅減少。
 - 教育(94)は、やや減少。(生涯)(82)は大幅減少で前年度の反動による増減が継続、(科学)(84)は2年連続増加の反動で大幅減少。一方で、(人間)(124)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 総合科学(81)は、2年連続増加の反動で大幅減少。(総合科学)(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(国際共創)(82)は2年連続の大幅減少。
 - 情報科学(90)は、2年連続減少。志願倍率も3.1倍→2.9倍→2.6倍と連続ダウン。
 - 理(102)は、前年度大幅増加の反動はなく微増で2年連続増加。学科別では、(生物科学)(159)は大幅増加、(地球惑星システム)(110)、物理(110)は増加。一方で、(化学)(73)は大幅減少、(数学)(86)は減少でいずれも前年度大幅増加の反動で減少。
 - 工(90)は、3年連続減少。類・コース別では、(第四類)(129)は大幅増加、(第一類)(107)はやや増加。一方で、(工学特別)(44)、(第二類)(81)、(第三類)(85)は大幅減少で、全て前年度の反動で増減。
 - 医(医)(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も6.6倍→5.4倍とダウン。
 - 医(保健)(102)は、前年度並。専攻別では、(看護)(112)が前年度大幅減少の反動で増加。
 - 歯(歯)(104)は、やや増加で2年連続増加。
 - 歯(口腔)(98)は、微減で5年連続減少。特に、(口腔工)(81)は大幅減少で5年連続減少。
 - 薬(83)は、前年度増加の反動で大幅減少。(薬科学)(133)は大幅増加で2年連続増加だが、(薬)(70)は前年度増加の反動で大幅減少。
 - 生物生産(103)は、3年連続減少の反動は小さく、やや増加に留まった。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 文(85)は、大幅減少で3年連続減少。
- 法(74)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(105)は、やや増加で2年連続増加。
- 教育(86)は、系統の人気低下を反映して4年連続減少。
- 総合科学(97)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少に留まった。
- 情報科学(88)は、減少で2年連続減少。
- 理(88)は、減少。学科別では、(地球惑星システム)(121)の大幅増加、化学(63)の大幅減少が目立った。
- 工(124)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。類・コース別では、(第一類)(174)、(第四類)(133)は大幅増加したが、(第三類)(84)は大幅減少。
- 歯(歯)(136)は、大幅増加で3年連続増加。
- 歯(口腔)(140)は、2年連続減少の反動で大幅増加。
- 生物生産(93)は、前年度3倍近い激増だった反動は小さく、やや減少に留まった。